

## 平成 18 年度路線バス運行経費

		運行系統名	運行回数(回)	平均乗車密度(人)	赤字額(万円)	町の補助額(万円)
広域路線	補助路線 国の	①米子・赤松・大山寺	8.0	1.9	2,008	275
		②米子・佐摩・大山寺	8.0	2.2	2,552	506
		小計			4,560	781
	補助路線 県の	③種原 - 米子駅	0.2	4.1	37	8
		④米子駅 - 佐摩	2.8	2.2	667	169
		⑤米子駅 - 草谷上	1.1	3.4	324	98
		⑥草谷上 - 米子駅	0.8	0.4	445	241
		⑦米子駅 - 香取	0.5	1.8	64	26
		⑧米子駅 - 別所	1.4	3.9	237	60
		⑨米子駅 - 下市入口	4.3	2.1	1,281	448
		⑩倉吉駅 - 下市入口	2.0	2.8	677	53
		小計			3,732	1,103
		単独路線 町単独の補助路線	⑪大山口駅 - 大山寺	0.5	3.8	13
⑫大山口駅 - 佐摩	0.6		6.4	0	0	
⑬塩津 - 羽田井	1.0		0.4	75	75	
小計				88	88	
合計				8,380	1,972	

■ ⑩、⑬は平成 19 年 3 月末で廃止になりました。

\* 運行回数…往復の運行を 1 回とする。1 日あたりの回数。

\* 広域路線…複数の市町村をまたがって運行している路線

\* 平均乗車密度…始発点から終点までの乗車を 1 人とする。

\* 単独路線…町内のみ運行している路線

## 平成 18 年度名和巡回バス運行経費

	便数/日	乗車人数/日	事業費	町負担額
名和巡回バス	10.0 便	42.6 人	903 万円	758 万円

平成 19 年 3 月で中山地区バス路線の全廃止にともない、利用状況を把握するため、平成 19 年 4 月からスクールバスを活用して中山地区巡回バスの試験運行を始めました。また、利用状況をともに、7 月から経路と時刻

### 中山地区巡回バス試験運行



最終便を削減する予定です。昨年度の平均乗車密度は 2.1 と低く、今後県の補助対象外路線になる可能性があります。そこで実態調査の結果からも利用者の少ない最終便（米子駅 17 時 30 分発、下市入口 18 時 20 分着、下市入口 18 時 30 分発、米子駅 19 時 20 分着）の 1 往復を削減することにより、1 日 5 往復から 4 往復に減便することの承認を得ました。ただし、この路線は、広域路線（複数の市町村をまたがって運行する路線）ですので、今後関係市町村と協議を進めます。

### 米子駅～下市入口線

最終便を削減する予定です

昨年、名和巡回バスとの接続が可能になりました。中山温泉館・町立図書館などへ行くのも便利です。試験運行期間中の運賃は無料ですので、この機会にぜひご利用ください。

### 中山地区巡回バスの利用状況

	1 か月の利用者人数	利用者数/1 日平均
4 月	308 人	12.8 人
5 月	292 人	12.2 人
6 月	326 人	12.5 人

### (参考) 名和巡回バス

	1 か月の利用者人数	利用者数/1 日平均
4 月	819 人	34.1 人
5 月	863 人	36.0 人
6 月	882 人	33.9 人

今後、利用状況に応じて、見直しの検討は継続して行います。みなさんのご提案をぜひお寄せください。

### 企画情報課

FAX 0859-545202  
TEL 0859-545202  
メール kikaku@daisen.jp

駅・佐摩間の運行は、1 日 16 往復（1 日 32 便）走っていますが、1 便あたりの利用者数は 1 日平均 5・15 人です。少子化と車の普及により、車の運転をされない方も路線バスは利用しないで車での送迎が多くなり、バスの利用者は減少しているのが現状です。また、これまで路線バスで通学をしていた小中学生は、新たにスクール

バスを利用するようになるなど、路線バスの利用者は今後さらに減るものと思われま。バス路線利用実態調査からも、運行時間や経路などが実態に合わない路線もあること、また、広域での利用者は大山口駅で JR に乗り換える方が多いことも分かりました。現在の路線のほとんどが複数市町村をまたいで運行してお

り、時刻・経路の変更については、関係市町村との調整が必要です。住民のニーズに合う運行形態にするため、大山口駅・佐摩線を大山町内で完結する町内単独の路線にし、高齢者の方などに利用しやすいよう、朝・夕の通勤・通学以外の時間帯は、集落の近くを経由する新たな経路に変更する予定です。